

さらなる救助活動の 向上を目指して

市消防本部
☎ 530123



車内からの救出訓練

皆さんは「救助」という言葉を聞いて何を思い浮かべますか。おそらく「交通事故」と思われる方が多いのではないかと思います。確かに平成十七年における土岐市の救助活動件数二十六件のうち、交通事故による活動が二十四件と大半を占めています。しかし、救助活動とは交通事故だけでなく、火災、自然災害、労働災害、水難事故など広範囲に及びます。さらに、最近では社会経済情勢の変化や生活様式の多様化で、災害や事故の種類とその内容も複雑化し、救助活動をするには、高度で専門的な知識・技術が必要となりました。



建物内への進入・脱出訓練

このため、消防署では、いつ起きるか分からない災害に備えて、いろいろな状況を想定した訓練を行っています。救助資機材の取り扱い訓練、交通事故による車内からの救出訓練、ロープやはしごを用いた建物内への進入・脱出訓練などさまざまな訓練があります。救助とは、あらゆる災害に対して、生命または身体に危険が及んでいる人を、いかに安全に素早く救出できるかが重要であり、それが私たちの仕事でもあります。一分一秒を争う場面の中で、冷静さを保ちながら活動できるよう、消防署では日々訓練を重ねています。

ペットランドへようこそ



今月のペット

稲垣 弘さん宅(土岐津町)
ラムちゃん
柴犬・メス 3カ月



名前は、ラム。人気アニメでおなじみのラムちゃんみたいに、かわいくておてんばな私です。でも、名前の由来は、ケーキ作りなどに使うラム酒からの命名みたい。実は、ご主人さん、パンケーキ教室を開くほどの料理名人。今も生徒さんが来て、パンを作っている最中。この香ばしいにおい、食べ盛りの私にはたまらない香りです。でも、まだ小さい私には、おなかが心配だと分けてもらえません。早く大きくなって、おなかいっぱい食べられる日が待ち遠しいです。

獣医さんからの ひとことアドバイス

陶の里動物病院 富田幸伸先生



～その子の一生に責任を持てますか？～

動物を飼うときにまず考えてほしいのは、その子の一生に対してきちんと責任が持てるかということです。動物は物言わぬ縫いぐるみでもなく、電池で動くおもちゃでもありません。人間と同じように生命活動を行う生き物です。毎日食事をし、排せつし、感情も表します。

その子の生活の大部分は、人間の手に委ねられています。一生をどう過ごせるかは、飼い主さん次第というわけです。

いかなる場合でも、人間の都合などは動物には関係ありません。動物の一生に責任を持つという重みをしっかり理解してから飼うようにしましょう。

